

平成 27 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	福島の子どもを招きたい！明石プロジェクト
活動テーマ	原発事故被災当事者による保養キャンプづくり支援事業



原発事故の影響がある地域では、多くの親子が不安な状態に置かれ、自然体験や屋外での遊びを自粛せざるを得ない状況が続いている。保養に取り組む全国の多くの団体も活動の継続のための資金や人材の不足に苦労している。復興支援の予算は十分にあるのに、保養にはあまり活かされておらず、残念な状況が続いている中、状況を改善するには、福島県など原発事故被災地に住む当事者親子が保養に主体的にかかわり、行政を巻き込んだ形に発展させていくことが不可欠である。そうした状況を打開するための一つの事例として、当団体が支援し 2014 年 12 月に立ち上がった「たこ焼きキャンプ FUKUSHIMA」の存在は、大きな意義があると考えている。

本事業は、保養キャンプ参加当事者グループ「たこ焼きキャンプ・FUKUSHIMA」の運営の支援と当事者による保養キャンプの企画運営への参加と資金調達(助成金申請)を目的として企画した。子どもの健康についての学習会、親と当団体のスタッフとの交流会、会の定期総会や子どもたちによるキャンプの実行委員会、キャンプに参加した子どもとその親と当団体スタッフとの再会行事「同窓会」などを行った。保護者自らの発案で、会としてキャンプ支援者に対する礼状を作るということも行われた。

当事者の会として、一年間有意義な活動ができたのに加え、保養キャンプの財源を、当事者の会として福島県に申請し獲得することができたこと、子どもたちが、保養を企画する側として主体的に参加したことなどが成果として挙げられる。